

マイコン 88 レギュラー F5000

概要 : ホテル・温泉業界様などのご要望により、これまでほとんど取ることの出来なかった浴室ガラス（全面）に付着した油膜カルシウム、珪酸スケールなどの汚染物質を従来の研磨剤に比べてほとんどガラス面に研磨キズをつけることなく、用途に応じて様々な作業方法で簡単に除去（軽減）できます。

用途 : 温泉・浴室・店舗のガラスが特にお奨めです。
以前に研磨処理をされたガラス面の白濁したガラス面のリニューアル温泉浴室の鏡など

特長 : 1. ガラス面の細かいキズを除去できます。

注意 * 対応可能な傷は、乱反射（ハレーションなど）の原因となる（5ミクロン）以下の傷です。

当製品をバス、電車、乗用車のフロント施工に使用されておりますが仕上がりはよく見えても雨天の夜の走行においては歪みが生じますので弊社バス、電車、乗用車のフロント施工の施工においては液状研磨剤のみの使用に限定いたしておりますので本製品は使用いたしません。

2. コーティング（フッ素コート、撥水コート剤）の塗布の下地処理が確実に行えます。

3. 温泉・浴室・店舗のガラスに最適です。

4. 専用のポリッシャーや手作業方式と様々な方法で作業出来ます。

使用方法（手作業の場合）

【A】使用器具

不織布（ハンドシート） 保湿剤（水または、希釈液） 拭き取り専用布（ダスターパパ）

指定品又は、相当品外のものを使用した場合、作業の低下又は、研削力の低下を招きます。

【B】1㎡当りの作業時間及び使用量

強化ガラス - TP 表示・・・10～30g

合せガラス - LP 表示・・・10～30g

一般ガラス・・・・・・5～20g

汚れの状態により作業時間が大幅に違いますので、作業時間の特定は出来ません。

【C】使用方法

ガラス面の砂や泥は、あらかじめ水洗いをして取り除いてください。

砂や泥が残っていると傷の原因になります。

ガラス面にハンドスプレーで水又は、保湿液を吹きつけ、軽くぬれた状態にします。

ガラス面の一部に本剤を塗り、指定のハンドシートでやや力を入れながら磨きます。

研磨の際にガラス面の液が乾燥した場合は、ハンドスプレーで水又は、保湿液を吹き付けるか本剤を塗布してください。

乾燥した状態で磨くと傷の原因になります。

磨いた後は、十分な水で洗い流すか、濡れタオル（ダスター）などできれいに拭き取って下さい。

洗い流し方や拭き取り方が不十分ですと乾いた時、粉末が残る事があります。

本製品は天然植物を主成分として公害性のない原料を使用しておりますが乾燥しますと

粉塵となりますので粉末を吸入しないように十分注意してください。

最後に清潔な乾いた布又は、スクイジーで拭き取ってください。

乾燥した状態で磨くと傷の原因になります。

特に汚れのひどい場合は ～ の作業を繰り返してください。

ご使用前は必ず目立たない箇所を磨いていただき、異常のないことを確認してからご使用下さい。

⇒次ページに機械操作（ポリッシャー）マニュアル記載

使用方法（機械作業の場合）

【A】使用器具

電動回転ポリッシャー（指定品：強力ドリルポリッシャー / リョービ P E - 2010）
（回転数 1,000 ~ 2,000）

バフ・バフ台（指定品 又は相当品） 保湿剤（水または、希釈液）
マスキングテープ、養生シート等（作業終了後テープののりが残らない良質のもの）
拭き取り専用布（ダスターバフ）

電動ポリッシャーは、回転数が 1,500rpm 前後のもの、但し、モーターが小さいものは、連続使用に加熱し易いのと、トルク不足気味になるので出力に余裕があるものを使用してください。

エアポリッシャーは、高回転使用が多い上にトルクが掛けると回転数が極端に低下してしまい、作業能率の低下を招く事がありますので、ご使用は控え下さい。

指定品又は、相当品外のものを使用した場合、作業の低下又は、研削力の低下を招きます。

【B】1 m²当りの作業時間及び使用量

強化ガラス - TP 表示・・・5 分～15 分・・・10～30 g

合せガラス - LP 表示・・・5 分～20 分・・・10～30 g

強化ガラスに比べ合せガラスは傷が付き易い為マイコン 88（ソフト）での研磨作業となります。

一般ガラス・・・・・・・・・・5 分～10 分・・・5～10 g

汚れの状態により作業時間が大幅に違いますので、作業時間及び使用量に差がでます。

【C】使用方法

ガラス面の砂や泥は、あらかじめ水洗いをして取り除いてください。

砂や泥が残っていると傷の原因になります。

ガラス窓枠の材質を確認し、場合によりマスキングテープで保護してください。

バフが当り、傷の原因になります。

ガラス面にハンドスプレーで水又は、保湿液を吹きつけ、軽くぬれた状態にします。

ガラス面の一部に本剤を薄く塗ります。

回転ポリッシャーを回転させ、静かにガラス面に当てて磨きます。

ガラス面に当ててから回転させると、ガラスが破損する場合があります。

1 ヲ所を集中的に磨きすぎると、ガラス面が破損する場合があります。

研磨の際にガラス面の液が乾燥した場合は、ハンドスプレーで水又は、保湿液を吹き付けて常にウェットな状態で磨いて下さい。

乾燥した状態で磨くと傷の原因になります。

磨いた後は、十分な水で洗い流すか、濡れタオル(ダスター)などできれいに拭き取って下さい。

洗い流し方や拭き取り方が不十分ですと乾いた時、粉末が残る事があります。

本製品は天然植物を主成分として公害性のない原料を使用しておりますが乾燥しますと

粉塵となりますので粉末を吸入しないように十分注意してください。

最後に清潔な乾いた布又は、スクイジーで拭き取ってください。

乾燥した状態で磨くと傷の原因になります。

特に汚れのひどい場合は ～ の作業を繰り返してください。

ご使用前は必ず目立たない箇所を磨いていただき、異常のないことを確認してからご使用下さい。

【禁止事項】

弊社では、本剤の特徴に記載どおりバス・電車のフロントガラスにおいても本剤は使用しておりませんが特に本剤での外国車のポリッシャーによる機械作業は避けてください。

バス・電車・乗用車のフロントガラス施工におきましては弊社製品『液状研磨剤：シリカドカーン』のみの使用としております。